

H26 バスターズ通信 Vol.7



平成26年6月29日 (日)

バスターズ23名がご参加下さいました。今年度最後のバスターズは、時折雨が強く降る中での作業となりました。人工産卵床では、バス・ギルの産卵はありませんでした。人工産卵床は、観察後にすべて引き揚げました。アイカゴでは、ブルーギルが3個体獲れました。定置網では、バス稚魚の他に、コイ科魚類の稚魚が多数入っていました。ジュズカケハゼの稚魚も毎回網に入るようになり、テナガエビと同様に増えているようです。



人工産卵床に集まったバス稚魚の捕獲。一つの産卵床に数匹のバス稚魚が集まっていました。



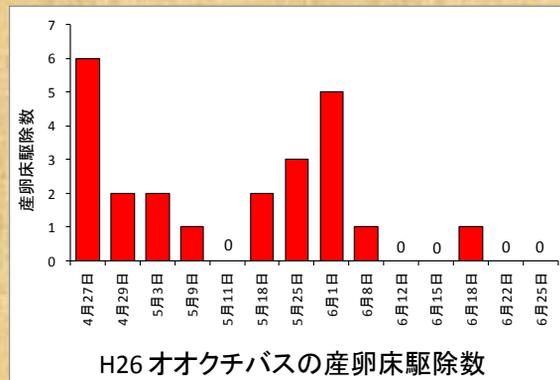
人工産卵床の引き揚げ作業。ゴミや砂が積もった人工産卵床を持ち上げるのは重労働でした。



今年は罟のギルを虫かごに入れたため、ライギョに食べられませんでした。



人工産卵床を船から降ろすと、船底にオオタニシとヒメタニシがたくさん落ちていました。



今年度のオオクチバスの産卵床駆除数は、合計23箇所、昨年よりも1箇所多くなりました。その一方、ブルーギルの産卵は全くありませんでした。バス稚魚の駆除数は現在集計中ですが、昨年よりも少なくなった印象があります。

今年度のバス・バスターズはすべて終了いたしました。
ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！